

日本性科学学会 ニュース

第21巻第2号

平成14年(2002年) 6月

発行人: 野末 源一 印刷所: 懶 絢 文 社

第22回 日本性科学学会のご案内

第22回日本性科学学会総会ならびに学術集会を下記のとおり予定しております。皆様奮って御来阪下さいませよう
ご案内申し上げます。

会 期: 平成14年10月20日(日) 8:50~17:30

場 所: 大阪市立大学医学部学舎4階 大阪市阿倍野区旭町1-4-3

JR環状線天王寺駅・近鉄阿倍野橋駅から徒歩6分

学 会 長: 石河 修 大阪市立大学大学院医学研究科 女性病態医学 教授

参 加 費: 会員・一般 5,000円 学生 1,000円

メインテーマ: “セクシュアリティと女性のQOL”

特 別 講 演 「生命のスーパーシステム -生物進化から生と性を考える-」

井上正康(大阪市立大学教授)

基 調 講 演 「性障害と性治療」

阿部輝夫 (あべメンタルクリニック院長)

招 請 講 演 遙 洋子 (エッセイスト)

セ ッ シ ョ ン 「性暴力被害におけるPTSD」(仮題)

甲村弘子(大阪樟蔭女子大学)・友田尋子(大阪市立大学看護短期大学部)

シンポジウム 後山尚久(大阪医科大学)・安本亮二(十三市民病院)・島 典子(新潟大学病院)

高橋 都(東京大学)・森村美奈(大阪市立大学)

一般演題締切 平成14年7月26日(金)

一般演題は全て口演です。発表は原則として、35mmスライド横長でお願いします。

OHPの使用は可能ですが、運営の都合上データプロジェクターは使用できません。

一般演題申込み 下記についてご記入のうえ、封書またはe-mailにてお送りください。

演題受付、採否、発表時間につきましては、追ってご連絡いたします。

1: 演題名 2: テーマ(下記より選択) 3: 演者・共同演者名 4: 所属 5: 連絡先住所, TEL/FAX等

6: 1,000字以内の抄録(a, b, cいずれかの方法で)

a. テキストファイルで保存したフロッピー(OS, ソフトウェア記載)にプリントアウトした原稿を添えて。

b. e-mailで上記1~5を併記して アドレス: jsss@med.osaka-cu.ac.jp

c. a, bのいずれも困難な場合は手書き原稿で。

テーマ 1. 性機能障害 2. 性暴力 3. 避妊・中絶 4. 周産期・不妊 5. 他疾患における性 6. 性教育

7. 性感染症 8. 思春期と性 9. 更年期・老年期と性 10. マイノリティの性 11. その他

事 務 局 〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 e-mailアドレス: jsss@med.osaka-cu.ac.jp

抄録送付先 大阪市立大学大学院医学研究科 女性病態医学講座 第22回日本性科学学会事務局 担当: 森村美奈

TEL 06-6645-3862 FAX 06-6646-5800

第22回日本性科学学会/日本性科学連合JFSセミナー 合同懇親会

日時・場所 10月19日(土) 17:40 開宴 大阪市立大学医学部付属病院6階 レストランカメリア

Vol. 21

№
2

日本性科学学会

〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館3F

長谷クリニック内

TEL 03(3475)1780 FAX 03(3475)1789

「女性の性の健康ワークショップ」 in ロサンゼルス 報告

東京大学大学院医学系研究科 高 橋 都

今年の2月2, 3日両日にロサンゼルスで「女性の性の健康ワークショップ」に出席したので、報告する。主催はカリフォルニア大学ロサンゼルス校医学部泌尿器科。会場はサンタモニカの美しい海岸に面したホテル。全米から召集された泌尿器科、婦人科、精神科、臨床心理、社会福祉などの専門家が、朝8時から夕方4時半までびっしりと講義を行い、200名ほどの参加者が熱心に聞き入っていた。

講義テーマは、解剖学・生理学・内分泌学など基礎科目もあれば、女性性機能の疾病分類・脊髄損傷と性・悪性腫瘍と性・抗精神薬と性・文化と性・女性性機能障害と臨床試験・男性パートナーとの関係など、実に多岐に渡っていた。

特に興味深かったのは、ソーシャルワーカーが受け持った、「性のことを話そう：私たちが患者に与える無言のメッセージ」というセッションである。一般医療者が女性患者の性に関わるときの示唆として彼女が挙げたのは、以下のような点だった。

- ・ 患者さんから聞かれる前に、こちらから性機能の問題をとりあげよう。
- ・ 性に対する自分自身の態度や信念を意識しよう。
- ・ 自分のボディ・ランゲージが患者さんに与える印象について意識しよう。
- ・ 性に関する情報を、待合室や診察室に準備しよう。
- ・ 患者さんの問題は特殊ではなく、彼女と同じ悩みを持つ人が他にもいることを伝えよう。
- ・ 患者さんと同じ言葉を使おう。
- ・ 患者さんが病院内外でまずセックスセラピストに会えるように調整しよう。
- ・ あなたが医者であっても、異なる人種の患者さんが楽に話ができると考えないこと。
- ・ YES / NO の質問だけでなく、患者さんの経験を分かち合えるような質問をすること。
- ・ 閉経後だからセックスがないと思いこまないこと。
- ・ 万人が同じと思わないこと。誰でも固有の経験を持っている。
- ・ 万人がヘテロセクシュアルと思わないこと。
- ・ 問題を口にしない患者さんには問題がないとは思わないこと。
- ・ 患者さんの性的訴えを軽々しく扱ったり、ジョークにしたりしないこと。
- ・ 患者さんが症状を話すとき、時間がかかってもいらいらしないこと。プライベートな情報を医療者に話すことに緊張しているかもしれない。
- ・ 自分の性的な経験について話さないこと。これは、あなたのセラピーセッションではないのだから！
- ・ 患者さんについて、すべてを知らなくてもよしとすること。

正直言って、「何を今さら当たり前のことを」と、少々肩すかしをくらった気がした。「人種が同じだとしても、楽に話せるはずがない...。」「“まず”セックスセラピストを探す前に、一般医療者ができることがあるだろうに。」とも思った。さらに、女性の性的パートナーとして、このセッションの発表者以外は同性愛の関係をほとんど視野に入れていなかったのも意外だった。アメリカでは、日本より性がずっとおおらかに語られているような印象があったが、ごく日常の医療現場に関する限り、ひょっとしたら日本と大差ないのかもしれない。

しかし一方で、多領域の専門家によるワークショップが企画され、高い受講料を払っても出席する一般臨床家が多数いること自体、大きな変化のあらわれなのかもしれない、とも考えた。しかも、医学的な知識ばかりでなく、医療従事者自身の先入観や態度の偏りを意識するよう促しているところは貴重である。アメリカでも、保健医療の専門課程における性科学教育は、まだまだ不十分だと指摘されている。だからこそ、卒後の継続教育の一環として性に関わるトピックを詳細に学ぶことの意義は、きわめて大きいと言えるだろう。

日常診療の場面で、性に関わる相談は、もっと当たり前に受け入れられていいはずだ。実はわが国でも、このようなワークショップへのニーズはあるのではないだろうか？

揃えたい性科学の名著 50 選

第二回 性科学の基礎データとなった名著

東京家庭裁判所 針 間 克 己

今回は、現代の性科学発展の基礎的データとなった名著を紹介します。これらのデータによって、性科学は「かくあるべきだ」という観念的なものから「現実はどうである」という客観的なものになり始めたといえるでしょう。

(8) A. C. Kinsey: Sexual behavior in the human male (1948)

昆虫学者キンゼイが米国人男性約 5,300 名への面接をもとに、統計的手法により性行動の実態を明らかにした。今日でもそのデータの価値は高い。日本語訳はいくつかでているようだ。

(9) A. C. Kinsey: Sexual behavior in the human female (1953)

キンゼイ報告女性版。女性 7,789 名に基づいている。

(10) C. S. Ford & F. A. Beach (小原秀雄訳) : 人間と動物の性行動. 新思潮社

多数の動物および人間の性行動を調査したもの。動物との比較で、人間の性行動が相対的に捉えられている。

(11) W. N. Stephens (山根恒男・野々山久也訳) : 家族と結婚. 誠信書房 (1963)

多数の民族における家族形態、結婚制度、性行動が調査されている。他の民族、文化との比較で、西欧的家族・結婚・性行動を相対的に捉えることが可能となった。

(12) W. H. Masters & V. E. Johnson (謝国権訳) : 人間の性反応. 池田書店 (1966)

人間の性反応の各段階の詳細を明らかにした。必ず持つべき一冊。個人的には、池田書店の日本語版の表紙が「Human Sexual Respons」となっており、response の e が抜けているのが気になる。

(13) W. H. Masters & V. E. Johnson (謝国権訳) : 人間の性不全. 池田書店 (1970)

行動療法的手法による治療法を示した。セックスセラピーを志すなら、すり切れるほどまで読むべき一冊。

(14) W. H. Masters & V. E. Johnson (謝国権訳) : 同性愛の実態. 池田書店 (1979)

上記二冊ほどは知られていないが、同性愛における性不全の問題も詳細に述べられており、せっかくなので三冊とも揃えたい。

資格認定 (2002 年度) について

資格認定制度委員会委員長 阿 部 輝 夫

資格認定の過渡的措置は一昨年で終了し、昨年から面接試験が加わることになり、2 名の応募者があり、全員合格となりました。この 5 年間にセックス・カウンセラーに 26 名、セックス・セラピストに 36 名の合格者があったことになります。

今年も「資格認定規定」に基づき、ケース・レポートについての簡単な面接試験を行ないます。面接の日時については、応募状況を見た上で本人に通知します。応募希望者は学会誌の「資格認定規定」を熟読の上、8 月 1 日から 8 月 31 日までの間に学会事務局に申し込んで下さい。

なお、すでに資格を取得された方は 5 年毎の「資格更新」に備えて、学術集会や研修会の参加証を保管されることをお勧めします。

第7回日本性科学会総会議事録

日 時：2002年5月12日 午後1時00分～1時30分 場 所：山之内製薬本社ビル，東京

開会の挨拶が野末理事長からあった。続いて，司会者（針間幹事長）が議長を誰にすべきか会場に諮った。会長からの「司会者に一任」の声を受け，大川前学会長が議長となる。以下大川前学会長の議長で進行。
議長よりの，「出席者50名，委任状が140名。総会が成立した」との報告があった。

議題1 2001年度事業報告（村口幹事）

- 2001年度の事業報告が長池理事に代わり村口幹事からなされた。（資料1）

議題2 2001年度決算の承認（山崎理事）

- 2001年度の決算が山崎理事より報告された。（資料2）
- 本多監事より監査報告があり決算は承認された。

議題3 2002年度事業計画案の承認（村口幹事）

- 2002年度の事業計画案が，長池理事に代わり村口幹事により提示され承認された。

議題4 2002年度の予算案の承認（山崎理事）

- 2002年度の予算案が山崎理事より提示され承認された。

議題5 日本性科学会理事選任について

- 議長より，過日の選挙において当選した選出理事の互選により，野末理事が理事長に選出されたことが報告され，野末理事長の選任が提案され，承認された。

議題6 日本性科学会理事選任について

- 野末理事長より理事選挙で当選の選出理事10名及び理事長指名の指名理事5名が提示され，承認された。
- 野末理事長より副理事長，常務理事，担当理事，委員長，幹事の紹介があった。

議題7 日本性科学会監事選任について

- 野末理事長より本多洋氏，長田尚夫氏を選任したい旨の提案があり承認された。

議題8 第23回日本性科学会学会会長選任について

- 野末理事長より原科孝雄埼玉医科大学教授が推薦され，承認された。

議題9 その他

(1) 資格認定制度委員会報告（阿部理事）

- ・2001年度の資格認定はセックス・カウンセラー1名（累積26名），セックス・セラピスト1名（累積36名）であった。
- ・認定審査で，面接テストがあるが，ためらわず応募して欲しいとの発言があった。

第22回日本性科学会学会会長挨拶

○石河修教授に代わって事務局幹事の森村美奈先生の挨拶があった。

第23回日本性科学会学会会長挨拶

○原科孝雄教授の挨拶があった。

阿部副理事長による閉会の挨拶

総会資料1

日本性科学会 2001年（平成13年）度事業報告（2001年4月1日～2002年3月31日）

- 第6回総会
期 日：2001年4月22日
場 所：東京都・山之内製薬本社ビル
出席者：60名 委任状：134名
- 会員状況（2002年3月31日現在）
正 会 員 286名
賛助会員 4法人
- 会の運営
(1) 理事会 3回
(2) 幹事会 12回
- 学術集会の開催
(1) 第21回日本性科学会
期 日：2001年10月21日
場 所：千葉県・千葉大学けやき会館
会 長：大川玲子（国立千葉病院産婦人科医長）
テーマ：女性の健康とセクシュアリティ
- 研修会，研究会の開催
(1) 第30回性治療研修会
期 日：2001年4月22日
場 所：東京都・山之内製薬本社ビル
(2) 症例研究会 6回開催
- 学会誌，学会ニュースの発行
・学会誌 2回
・学会ニュース 4回
- 資格認定制度実施状況
資格認定者
・セックス・カウンセラー 1名（延べ26名）
・セックス・セラピスト 1名（延べ36名）
- 団体交流
(1) 日本性科学連合（JFS）
・加盟団体：日本性科学会，(財)日本家族計画協会，(財)日本性教育協会，日本思春期学会，日本性機能学会，日本性感症学会
・セミナー
期 日：2001年10月20日
場 所：千葉県・国立千葉病院地域医療研修センター
(2) 世界性科学会（WAS）
第15回大会 2001年6月24日～28日
フランス・パリ国際会議場
大川玲子氏が引き続き役員に選出された。

日本性科学会 2001 年（平成 13 年）度決算（2001 年 4 月 1 日～2002 年 3 月 31 日）

目次

日本性科学会 2002 年（平成 14 年）度事業計画案（2002 年 4 月 1 日～2003 年 3 月 31 日）

1. 学術集会の開催

○第 22 回日本性科学学会

期 日：2002 年 10 月 20 日（日）

場 所：大阪市・大阪市立大学大学院

医学研究科・医学部 講堂

会 長：石河 修（大阪市立大学大学院医学研究科・

医学部 産婦人科教授）

テーマ：セクシュアリティと女性の QOL

2. 研修会、研究会の開催

○第 31 回性治療研修会

期 日：2002 年 5 月 12 日（日）

場 所：東京都・山之内製薬本社ビル

3. 学会誌、学会ニュースの発行

4. 資格認定制度の実施

5. 地域活動の推進

6. 関連団体との交流

(1) 日本性科学連合（JFS）

(2) 世界性科学会（WAS）

(3) アジア性科学会（AFS）第 7 回大会

2002 年 11 月 14 日～17 日 シンガポール

日本性科学会 2002 年（平成 14 年）度予算案（2002 年 4 月 1 日～2003 年 3 月 31 日）

2002 年度 日本性科学会運営体制

理事長	野 末 源 一	学校法人平和学院看護学院校長・山王病院産婦人科
副理事長 兼 認定制度委員長	阿 部 輝 夫	あべメンタルクリニック院長
常務理事	大 川 玲 子 武 田 敏 敏 河 野 友 信	国立千葉病院産婦人科医長 千葉大学教育学部名誉教授 東洋英和女学院大学人間科学部教授
理 事 (総務担当) (財務担当) 倫理委員長	長 池 博 子 山 崎 高 明 広 井 正 彦 熊 本 悦 明 玉 田 太 朗 石 津 宏 宏 亀 谷 謙 謙 村 口 喜 代 川 野 雅 資 金 子 和 子	長池産婦人科医院院長・長池女性健康相談所所長 山崎産婦人科医院院長 山形県立保健医療大学副学長、山形大学医学部産婦人科名誉教授 財性の健康医学財団会頭、札幌医科大学泌尿器科名誉教授 自治医科大学産婦人科名誉教授 琉球大学医学部精神衛生学教室教授 紘仁病院精神科性医学部部長 村口きよ女性クリニック院長 三重県立看護大学精神看護学教授 日本赤十字医療センターカウンセリングサービス臨床心理士
監 事	本 多 洋 夫 長 田 尚 夫	三井記念病院産婦人科 聖マリアンナ医科大学泌尿器科客員教授
幹 事 幹 事 長 副幹事長	針 間 克 己 塚 田 攻 攻 矢 島 通 孝 茅 島 江 子 大 谷 眞 千子 高 橋 都 都 山 中 京 子	東京家庭裁判所技官 埼玉社会保険病院精神神経科部長 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院泌尿器科助教授 東京慈恵会医科大学医学部看護学科教授 千葉県立衛生短期大学看護学科教授 東京大学大学院医学研究科健康学習・教育学分野助手 大阪府立大学社会福祉学部助教授
事務局長	本 郷 元 夫	新医学普及会理事
顧 問	松 本 清 一	日本家族計画協会理事長、群馬大学・自治医科大学名誉教授
事 務 局 主 任	吉 川 佳代子 亀 沢 佳 子	